

(本件は、アメリカ・アーバインにおいて、10月21日(水)に発表したリリースの抄訳版です。)

2026年10月30日

Hitachi Solutions America, Ltd.

日立ソリューションズアメリカが NVIDIA と協業し、企業のデータ活用と AI 導入準備を加速

企業のデータ活用を支える統合データ基盤に NVIDIA cuDF を組み込み、データ活用基盤の高度化と AI 活用を支援

Hitachi Solutions America, Ltd. (本社：米国、CEO：Roger Lvin／以下、日立ソリューションズアメリカ) は、10月21日、半導体および AI コンピューティングのリーディングカンパニーである NVIDIA と協業を開始しました。本協業は、日立ソリューションズアメリカの統合データ基盤に構造化データ処理を GPU で高速化する NVIDIA cuDF^{*1}を組み込み、企業におけるデータ活用の高度化と AI 活用の加速を支援するものです。

本協業により、日立ソリューションズアメリカが有するエンタープライズ向けデータモダライゼーションの知見と、企業のデータ活用を支える統合データ基盤に、NVIDIA のアクセラレーテッド コンピューティング技術を組み合わせたソリューションを提供します。これにより利用者は、データ処理の高速化やインフラ利用効率の向上を図るとともに、大規模な AI 活用を支えるデータ基盤を構築できます。また、本ソリューションにより、既存のデータ活用基盤への投資を維持しながら、GPU^{*2}を活用したデータ処理の高速化に向けた評価や検証、最適化を行うことが可能になります。

近年、データ分析や生成 AI の活用拡大に伴い、企業が扱うデータ量は急速に増加しています。その結果、データ変換や処理プロセスの効率化が重要な課題となっています。日立ソリューションズアメリカと NVIDIA は、本協業を通じて GPU による高速データエンジニアリング機能の活用を容易にし、企業のデータ活用の高度化を支援するとともに、運用負荷の軽減やインフラコストの最適化に貢献していきます。

^{*1} NVIDIA が提供する、GPU を活用して大規模データの処理や分析を高速化するソフトウェア群。既存のデータ分析基盤と連携し、AI 活用やデータ分析に必要な処理時間の短縮や運用コストの削減を支援する

^{*2} Graphics Processing Unit の略。大量のデータを並列に処理できる高性能な演算装置。画像処理に加え、AI やデータ分析の高速化に活用されており、NVIDIA cuDF は GPU の処理能力を利用してデータ処理を高速化する

日立ソリューションズアメリカ CEO Roger Lvin 氏からのコメント

「AI は、お客さまにとって業務の進め方や価値創出の在り方を見直す大きな機会をもたらしています。日立ソリューションズアメリカは、ビジネスに関する知見、データ活用の専門性、そしてマイクロソフト社のエコシステムの強みを組み合わせることで、お客さまの変革を支援しています。今回の NVIDIA との協業により、構想段階から実装・運用までを一貫して支援し、お客さまのビジネストランスフォーメーションの加速に貢献していきます。」

NVIDIA エンタープライズソフトウェア担当バイスプレジデント John Fanelli 氏からのコメント

「あらゆる業界の企業が、膨大なデータ量をより効率的に処理する方法を模索するとともに、高度なデータ分析を全社規模で展開するための基盤づくりを進めています。データ活用を支える統合データ基盤において、NVIDIA cuDF を利用することで、企業がデータ処理ワークフローを高速化し、データへの投資からさらなる価値を引き出せるようになります。」

日立ソリューションズアメリカが保有する統合データ基盤は、マイクロソフトの技術をもとに、企業データの取り込みから変換、ガバナンス、運用までを一貫して支援する再利用可能なフレームワークおよびアーキテクチャを提供します。これにより、企業のデータ活用基盤の構築や運用の効率化を支援します。さらに、NVIDIA cuDFを組み込むことで、Apache Spark^{*3}をはじめとする分析処理を GPU で高速化します。利用者は複雑な環境構築を行うことなく GPU の処理能力を活用できるため、導入負荷の軽減と早期の価値創出を図ることが可能になります。

すでに顧客環境においても成果が確認されており、製造業向けデータ処理を対象としたベンチマークでは、NVIDIA cuDF を活用した構成によりデータ処理にかかるコストを最大で約 83% 削減しました。また、評価対象となったすべての処理において、従来の CPU^{*4} 中心の処理環境と比較して低コストでの実行を実現しています。さらに、一部の処理では性能向上も確認されており、GPU 活用によるコスト削減と処理性能向上の両立が期待できます。

本協業はすでに製造業や産業分野において成果を上げており、大規模データ処理やオペレーショナルインテリジェンス、デジタルツイン、AI 活用などに向けた取り組みを支援しています。これにより、利用者が求める効率性と拡張性を備えたデータプラットフォームの実現に貢献しています。両社は今後も、産業分野における AI 活用や次世代分析ソリューションの開発を推進し、共同での技術開発や新たな価値創出をめざしていきます。

本ソリューションは、ワークロードの評価や性能検証、最適なアーキテクチャの導入から GPU を活用したデータパイプラインの運用までを一貫して支援します。これにより、企業は AI 活用に向けたデータ基盤の高度化を計画的かつ効率的に進めることができます。両社は今後、共同での市場開拓活動や顧客とのイノベーション創出に向けた取り組みを推進するとともに、業界特化型ソリューションの開発も検討しています。これにより、企業が最新のデータ基盤から本格的な AI 活用へと移行するための取り組みを支援していきます。

*3 大量のデータを高速に処理、分析するためのオープンソースのデータ処理基盤。

*4 Central Processing Unit の略。コンピュータの演算や制御を担う処理装置。従来のデータ処理基盤では主に CPU が処理を担っていた。

日立ソリューションズアメリカについて

日立ソリューションズアメリカは、日立ソリューションズグループのグローバル事業を担う中核企業です。日立ソリューションズは、お客さまごとの課題に応じたアドバイザリー、コンサルティング、テクノロジーソリューションを提供し、持続可能なビジネストランスフォーメーションを支援しています。財務、営業、サービス領域における業務変革をはじめ、ローコード開発や AI・データ活用に関する豊富な知見を有しています。

また、グローバル事業において Microsoft テクノロジーを中核に据え、Microsoft のビジネスアプリケーション、クラウド、AI、データプラットフォームを活用したソリューションを提供しています。本社を東京に置き、北米、欧州、インド、アジア、オーストラリア、ニュージーランドなど世界各地で事業を展開しています。日立ソリューションズは、株式会社日立製作所のデジタル事業を担う中核企業の一社として、お客さまとともに新たな価値創出と事業変革の実現に取り組んでいます。

ソリューションに関するお問い合わせ先

株式会社日立ソリューションズ

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

報道機関お問い合わせ先

担当：高橋、竹谷

株式会社日立ソリューションズ

経営企画本部 広報部

koho@hitachi-solutions.com

※ 記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
